# ✓巡回だより

令和 5 年 5 月 3 I 日中野区立中野東中学校特 別 支 援 教 室No. 2

新年度が始まって2か月が経ちました。生徒のみなさんも新しいクラスメイトや担当の先生、そして巡回の担当者にも慣れてきたことと思います。今回は、特別支援教室で教材として使用しているカードゲームをご紹介致します。授業ではいろいろなカードゲームをすることがあります。カードゲームでのやり取りを通してお子さんの力を高めることを目的としています。

#### カードゲームを通して伸ばすことを期待するカ

- 自分を表現する力。
- 場面や状況、相手に応じた円滑なコミュニケーションの力。
- 積極的に周囲に働きかける力や協力し合う力。
- 勝つための作戦や手立てを考える力。 その他にもカードゲームを通して高める力は多くあります。また、ゲームによって、短期記憶や語彙力を高めることを目的としています。



# 教材として使用しているカードゲームの紹介

### 「犯人は踊る」

人数 3~8人

各プレイヤーに均等にカードを配り、I枚だけ入っている「犯人カード」を誰が持っているか当てるゲームです。イベントカードを使えば「犯人カード」を他のプレイヤーに渡す事ができます。探偵側は情報を集めて犯人を追い詰めて、犯人側は「犯人カード」を他の人に渡し逃げます。





伸ばしたい力 他者と協力してコミュニケーションをとる力、情報から推測する力など。

# 「ナンジャモンジャ」

人数 2~6人

山札からカードをめくるたびに謎の生物に プレイヤーが考えた「オリジナルの名前」をつ けます。山札から再び同じカードが現れたら、 その名前を誰よりも早く叫ぶというゲームで す。





伸ばしたい力

短期記憶や表現力など。

#### 「カタカナーシ」

人数 3~8人

手札に書かれたカタカナ語のお題を、カ タカナ語を使わずに説明し、みんなに当て てもらうゲームです。

伸ばしたい力 語彙力や短期記憶など。



ドーナツ	1 レギュラー	1 コラボレーション
2 ホットケーキ	2 エキストラ	2 コミュニケーション
3 マフィン	3 ++ラクター	3 プロデュース
4 コーヒーセリー	4 74/14	4 エンターテインメント
5 パウムクーヘン	5 カムフラージュ	5 バフォーマンス
6 マカロン	6 コマーシャル	6 ネットワーク
1 スパイシー	1 ^4	1 ラベル
2 ジューシー	2 ソーセージ	2 ルーズリーフ
3 トロビカル	3 サラミ	3 ステッカー
4 ブレーン	4 ベーコン	4 ホッチキス
5 カロリー	5 マカロニ	5 122
6 ピタミン	6 ファーストフード	6ファイル

## 「Neu (ノイ)」

人数 2~7人

3枚の持ち札から順にカードをⅠ枚ずつ 出し(カードを出したら山札から引いて常 に3枚にする)、出した全てのカードの数 字を足したり、引いたりしていきます。 101 までは手札を場に出せますが、101 を超えてしまった場合負けとなり、チップ





を | 枚失います。3枚の全てのチップがなくなると負けです。

伸ばしたい力 計算力、短期記憶力など